



くわなのウェルビーイング「文化」

人生に彩りをもたらす エッセンス

文化は、人間が人間らしく生きるために重要な要素と言えるでしょう。
市では、桑名市文化協会を中心にさまざまな人が文化活動を行っています。
今月は、その中でも芸能と洋舞について、ご紹介します。

問 この記事については秘書広報課(☎24-1492 FAX 24-1119)



昨年の桑名市民芸術文化祭の様子

**文化活動をサポートする
桑名市文化協会**

毎年10月から12月にかけて行われる「桑名市民芸術文化祭」や、1月の「新春六華苑祭」を開催するなど、文化活動をする個人や団体をサポートしている桑名市文化協会。文学、美術、音楽、芸能(芸能、詩吟、洋舞)、演劇、茶華香道、社会文化、趣味教養、子ども文化の11部門があり、主に桑名市内で活動する団体や、桑名市内に居住または勤務・通学する個人であれば、誰でも入会することができます。平成5年に発足して以来、登録団体は徐々に増え、現在の登録団体は全79団体。それぞれが文化活動を楽しみ、それらを観賞する人もまた、楽しんでいきます。

- 02 伸びゆくまち・桑名
第36弾 防災体制を強化し、まちの安全を守る！
消防本部高台移転
- 04 キラリ★くわな人
- 05 特集 くわなのウェルビーイング「文化」
人生に彩りをもたらすエッセンス
- 08 令和7年度 桑名市の予算
- 10 令和6年度「桑名市民満足度調査」結果
- 12 4月から市の組織・機構が変わりました
こころとカラダを大切に 女性が自分らしく
輝くまち
- 14 子育て広場、図書館・六華苑・博物館
- 16 メディカルニュース、くわな防災教室

- 17 人気の給食レシピ、みんなの掲示板
- 18 EVENT ALBUM(イベントアルバム)
- 20 くわなINFO
- 30 無料相談
- 31 ゼロカーボンシティ取りくみレポート
市長まちなか探索
- 32 HAPPY BIRTHDAY
桑名のイトコ教えてください。

今月の表紙

新消防庁舎の緊急車両車庫の写真です
(令和7年3月撮影)。6月には消防本部
の高台移転を完了し、供用開始に向けて
準備が進められています。



第35回 MOA 美術館全国児童
作品展の絵画の部で文部科学大
臣賞を受賞した加賀さんと、書写
の部で全国子ども会連合会会長
賞を受賞した藤島さん。

加賀さんが今回描いたのは「石
取祭」。毎年夏休みに石取祭に行
くのが楽しみで、全国の人に迫力
ある石取ばやしが伝わってほしい
と思い描いたそうです。

「絵は描き直すことができない
ため、失敗しないよう慎重に描き
上げた」とのこと。3年生から絵
画教室に通い始め、今回初めて受
賞をし「初めての受賞にとても驚
いたけれど、家族からも褒めても



小学6年生 加賀 千尋 さん(左)
小学5年生 藤島 優弥 さん(右)

らえてうれしかった」と笑顔で話
してくれました。今後の目標を聞
くと「将来画家になるために、今
後も絵を描き続けていきたい」と
教えてくれました。

藤島さんは、3歳の頃から姉の
影響で書道を始め、これまでも
さまざまな賞を受賞し、令和4年
5月号の広報くわなでも紹介しま
した。今回は「地球」という文字を
選びました。地球の環境を守る
人になれるように頑張りたいとい
う思いを込め、地球のように線を
美しく大きく書くことを意識し、
何枚も何枚も書き直して作品を
完成させたそうです。

2年生の時は、涙を流しながら
練習していたと話してくれました
が、3年経った今「上手く書きたい
気持ちにより強くなり、涙よりも
汗を流して頑張っている」とのこと。
今後は、「毛筆だけでなく、ノート
なども丁寧に書くようにし
たい」と教えてくれました。

MOA 美術館児童作品展HPで
受賞作品をご覧いただけます。

キラリ★くわな人

子どもから大人まで、琴や三味線を楽しむ

ぐるーぷ束

「ぐるーぷ束は、琴（箏）、三味線、胡弓を教える瀬尾さんが代表を務めています。メンバーは子どもから大人まで年代は幅広く、初心者も経験者もいろいろ。普段は個人レッスンで、それぞれのペースに合わせて演奏を楽しんでいます。『琴は初心者でも』さくらさくら』なら10分で弾けるよう

になります。でも、そこから奥深くて難しいんです」と瀬尾さん。琴は姿勢が音に反映されるため、正しい姿勢を保つ必要があることや、13本の弦からさまざまな音程を奏するために柱というパーツを動かして音を作っていく必要があるからです。

本来であれば、琴なら琴用の楽譜を基にレッスンをしますが、参加者からの「好きな曲を演奏したい」というリクエストにより、瀬尾さんが曲を聞いて楽譜に起こしたりしているそうです。時にはアニメソングを演奏することもある。メンバーそれぞれの力量や課題を考慮して練習曲を伝え、より効率的に上達できるように工夫しています。



「発表の場がないと上達しないし、充実感も得られない」との考えから、桑名市芸術文化祭や新春六華苑祭のほか、独自の発表会を企画・開催しています。それぞれのレベルに合わせて発表曲を選び、半年以上かけて練習します。バイオリンなどとコラボすることもある。「これからも型にはまらない演奏をみんなで楽しんできたいです」と瀬尾さんは話してくれました。

桑名市民芸術文化祭



長めにアレンジした曲を、10人以上の大人で演奏しました。

新春六華苑祭

初心者や子どもを含む少人数で、ほっこりとした雰囲気の中演奏しました。



ぐるーぷ束

活動場所 北勢堂教室（寿町）、自宅教室（大山田）
会員数 約30人
問 文化協会事務局 ☎24-1361

踊る楽しさや美しさを追究するバレエ教室

スタジオ リラ

きらびやかな衣装に身を包み、音楽に合わせて優雅に踊るバレエ。「子どものころから練習をしていないと踊れない」というイメージを持っている人も多いかもしれません。でも、スタジオリラでは幼児から大人の初心者まで、さまざまな人がレッスンをしています。「一番小さな子が集うデイ

ジークラスは、音楽に合わせてスキップなどをするところから始まります。音楽に合わせて体を動かす楽しさを知ってもらえたら」と話すのは、バレエやミュージカルダンスなどを経験してきた堀田さん。小学2〜4年生のコスモスクラスはバレエの基礎を学び、小学4年生〜大人が所属する



リラクラスはトゥシューズを履いて、ローズクラスは初心者の大人が無理なく楽しくレッスンをします。

さん。11歳の吉中さんは「年中からはじめて、ようやくトゥシューズがはけるようになってうれしい。もっと練習して、みんなに驚かせるくらい上手になりたい」と話してくれました。

教えてくれたのは

代表 堀田 佳世さん



参加者の動機は「ダンスの習い事がしたかった」「体の柔らかさを生かしたい」「子どもの頃に憧れていたから」「レオタードが可愛い」など、さまざまです。初めは音楽に合わせて踊ることが楽しいという理由でも、だんだんと「もっと美しく」と追究したくなるのだそう。「先生は優しいけどダメだしは容赦ない（笑）。でも、だからこそ『できなかったこと』ができるようになる」という達成感があります」と、参加者の1人である65歳の倉内

桑名市民芸術文化祭



赤ずきんの衣裳を身にまとい、子どもならではのかわいらしさをバレエで表現。

『眠れる森の美女』の一幕。この作品は、堀田さんが大好きな作品でスタジオ名の由来でもあります。



スタジオ リラ

活動場所 Studio Lilas（蓮見町11）
会員数 約25人
問 ☎090-2578-9506